



どう足搔いても人体改造  
パッドエンドで終わる話

—鬼娘編—



**Prologue:出立 ークオンー**

それでは……

お父さま！お兄さま！

行ってまいります！

クオンはきつと……鬼族の

戦士の名に恥じない立派な

冒険者になって帰ってきます！





## 鬼坂 久遠〈冒険者登録名:クオン〉

鬼族の族長と、彼が気まぐれに娶った人間との間に生まれる。人里に預けられる予定だったが、生まれてすぐに父の指を折りその力を認められ鬼族の戦士として育てられてきた。

父と兄を尊敬しており、気弱な自分を変えるため、そして父や兄のように、人々を助けられる立派な戦士になるためにまだ幼いながら冒険者として険しい道を歩むことを選んだ。

おう!! 外の世界は厳しく  
そして広い…ウグツ…  
しっかり励めよッ…!!

お、お父さん泣いてるの…?  
だめだよ…! おとつち…さまは  
誇り高き鬼族の長なんだから…!



なッ泣いてねエやい…っ！グス…  
ははは、なかなか言うつように  
なったじゃないか、妹よ。

お兄さまに鍛えられたんだもん！  
ぼくすごく強くなったんだよ…！！  
力ならお兄さまにだって負けない！

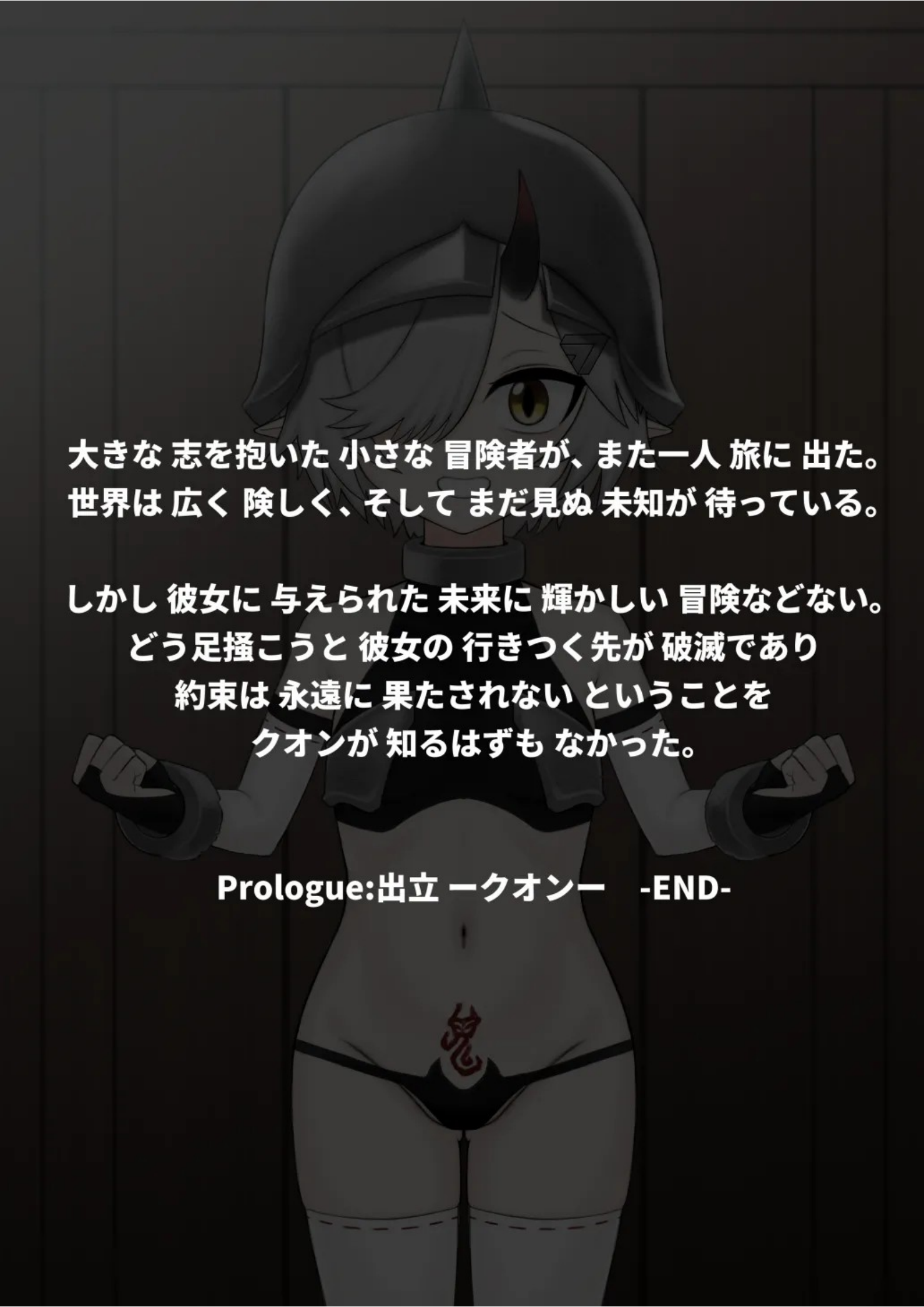


ああ、よく知ってるさ。  
その怪力、存分に振るってこい！  
…もちろん——良い行いに、な。

お前は里の誇りだ…！  
それを忘れるなよ！

…！！うんっ！ぼくがんばる、よ…！！

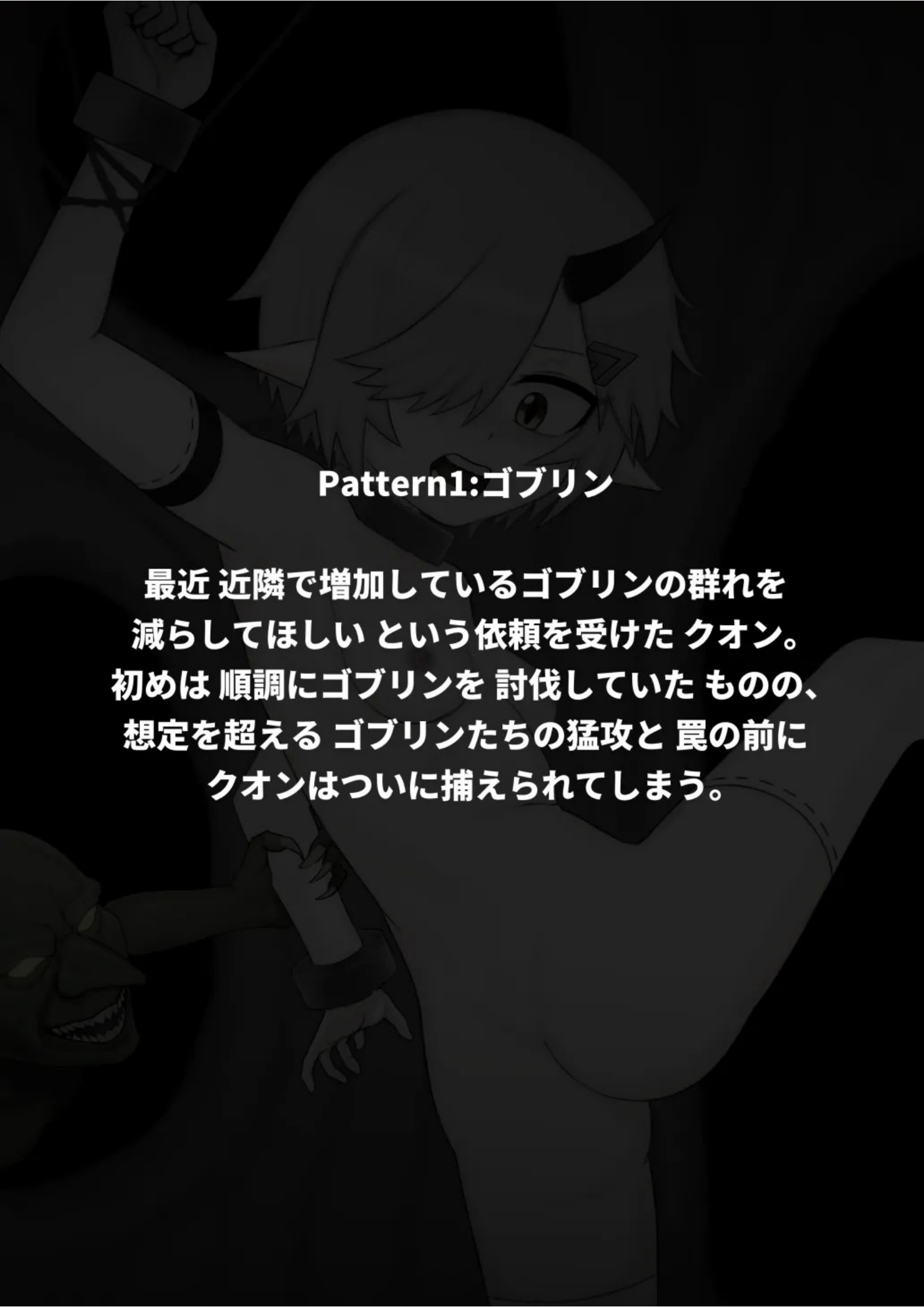




大きな志を抱いた小さな冒険者が、また一人旅に出た。  
世界は広く険しく、そしてまだ見ぬ未知が待っている。

しかし彼女に与えられた未来に輝かしい冒険などない。  
どう足掻こうと彼女の行きつく先が破滅であり  
約束は永遠に果たされないということを  
クオンが知るはずもなかった。

Prologue:出立ークオンー -END-



## Pattern1:ゴブリン

最近 近隣で増加しているゴブリンの群れを減らしてほしいという依頼を受けたクオン。初めは順調にゴブリンを討伐していたものの、想定を超えるゴブリンたちの猛攻と罠の前にクオンはついに捕えられてしまう。

は…離してっ…!!  
うう…こんなはずじゃ…!!




絶対おかしい……！  
仲間がやられてるのに  
ぜんぜん怖がらないなんて……っ！

グ  
グ

ニ  
ニ


う……振りほどけない……！  
どうしてっ……ぼく……ぼくは……  
里一番の力持ちなのに……！





ゴブリンたちは実際うるたえていた。  
このやけに力の強い小さい人間に  
仲間が何人もやられた。不思議だ。  
——でも問題ない。

力自慢の女はもう何人も負かしてきた。  
捕えて犯して力自慢の子供を産ませてきた。  
問題ない。こいつも捕まえて犯せばいい。



全力で戦えば本来は対処できる  
相手ではあったが、父から聞かされた  
鬼族の無双夢物語と強さゆえの慢心、そして  
戦闘経験の違いが少女を完全な敗北へと導いた。

こんなところで終われない！  
ぼくは…負けない…！！



え…え…？うそ…？

まさか…そのおちんちん

ぼくのおまたに入れてっ…

ゾッ  
ゾッ

じっ…交尾する気じや…!!



お!

とち



●**ビュデル・ゴブリン(変異種ゴブリン)**

サキュバスとゴブリンの交配によって生まれた変異種。  
サキュバスから継承した小規模の【魅了】能力と、  
ゴブリン特有の強靱で力強い精子を併せ持つ。  
そのため、受精確率が異常に高く、ほとんどの場合  
一度の交尾で複数の卵子を受精させる。  
戦闘にも優れ、外見は通常種と大差ないため  
女性冒険者の被害が相次いでいる。

おつきすぎるうっ♡  
やめっ…お腹破れちゃ…っ!!

ゴゴゴ  
ゴゴゴ



なんとかしなきゃ…っ！  
このままじゃ…ぼく…っ！

ゴブリンの対処法……！  
絶対知ってるはず！えっと…  
ゴブリンは群れで動く…！  
それでっ…繁殖力が高ー



…!? なにこわいっ…!?

お腹の奥…ずくずくする…!!

熱くて…きゅりゅっっ…




どくん

ぞぞぞぞぞ

起死回生の一手を見つけるために  
必死にゴブリンについての知識を探す脳。  
しかしその無秩序な記憶の参照は  
必要のない記憶までも呼び起す。

へ長時間ゴブリンと接触すると  
肉体が汚染されてやがて  
ゴブリン化してしまうよー





や…やだやだやだっ!!  
ぼくゴブリンになんて  
なりたくないっ!!

やめてえっ!!せめて…せめて  
誇り高い鬼族として死なせてっ!!  
ゴブリンはやだあああっ!!

パニックを起こした脳は  
正常な判断力を失い刻一刻と  
脱出できる可能性が失われていく。

ガチガチ

ガチガチ

ひいーッ!! ひいーッ!!

死んじゃうっ!! 助けてっ!!

お父さま!! お兄ちゃッ……



ぞわぞわっ♡お腹が  
ぞわぞわってするうっ♡

ぼくのお腹に♡ゴブリンの  
赤ちゃん実っちやうう…っ♡





はーん

はーん





お…終わったっ…♡

ぼくの赤ちゃんのお部屋…


ゴブリンになっちゃったっ…♡






やだっ!! やだやだッ!!  
ねえやだっ!! やめてッ!!  
へタネヅケもうやだああっ!!





ゴブリンのアジトに連れ去られたクオンはろくに休む暇もなく犯され続け出産と受胎を繰り返す地獄を味わっていた。初めこそ激しく抵抗したものの、その度になまぐらで腕を、脚を斬り落とされ肉体は無残な変貌を遂げていた。

ゴブリンたちに執拗に弄ばれた身体は細胞汚染により緑色に変色し、特に何度も胤を受け止めた子宮は内側からの汚染が体表にまで現れ始めていた。



なんでもするからッ!! だから…ッ  
へタネツケだけは許してください!!

最近どんどん体が緑になってて…っ!  
これ以上あれされたら…本当に本当に  
ゴブリンになっちゃうんですっ!!

お願いしまひゅっ!!  
お願いじまずツ!!  
奴隷でも!ご飯でもっ!  
なんでもなりますっ!!  
だからせめて…ツ

バゴッ♡  
バゴッ♡

せめてお父さまとお兄さまに  
一目会いたいでひゅ…っ!!

ニヤーン



え………？

←…

…っわかってくれたの…!!  
…ッありがとiiiiいまますっ!  
ありがとiiiiいまま………




#チャッ!!

#チャッ!!  
0°

Nigam

んおおおおツ!!  
なんでっ…ぱんぱんっ!!  
はなしちがううツ♥



鬼族としての誇りを自ら粉々に  
打ち砕き絞り出したクオンの本気の  
命乞いはまるで届いていなかった。

彼らはクオンの初めて見る行動に  
興味を示し一時的に止まっただけであり  
そもそもゴブリンはヒトの言語を  
理解できるほど知性を持たない。



ジャーン!!

ジャーン!!

ゴゴゴ

ゴゴゴ

これダメっ…!! 一番強い  
へタネツケられちゃ…っ!!

ゴゴゴ

ずろろろっ







近辺の攻撃的なゴブリンは  
おおよそ殲滅完了しました！

生存者の搜索に当たれ！  
これだけ連れ去られてるんだ  
一人ぐらいいるだろう！

生存者はいますか！  
声が出せない方は  
音を立ててください！

ガアアツ!!

ギヤツギヤツ!!

うわっ!?! なんだこいつ…!?!

あの腹…最近ゴブリンが  
異常に増えていたのは恐らく  
あいつの仕業だろう




グルルルウウ~~~~~:ツ!!

(なんだ…?何か…普通の  
ゴブリンとは違うような…)

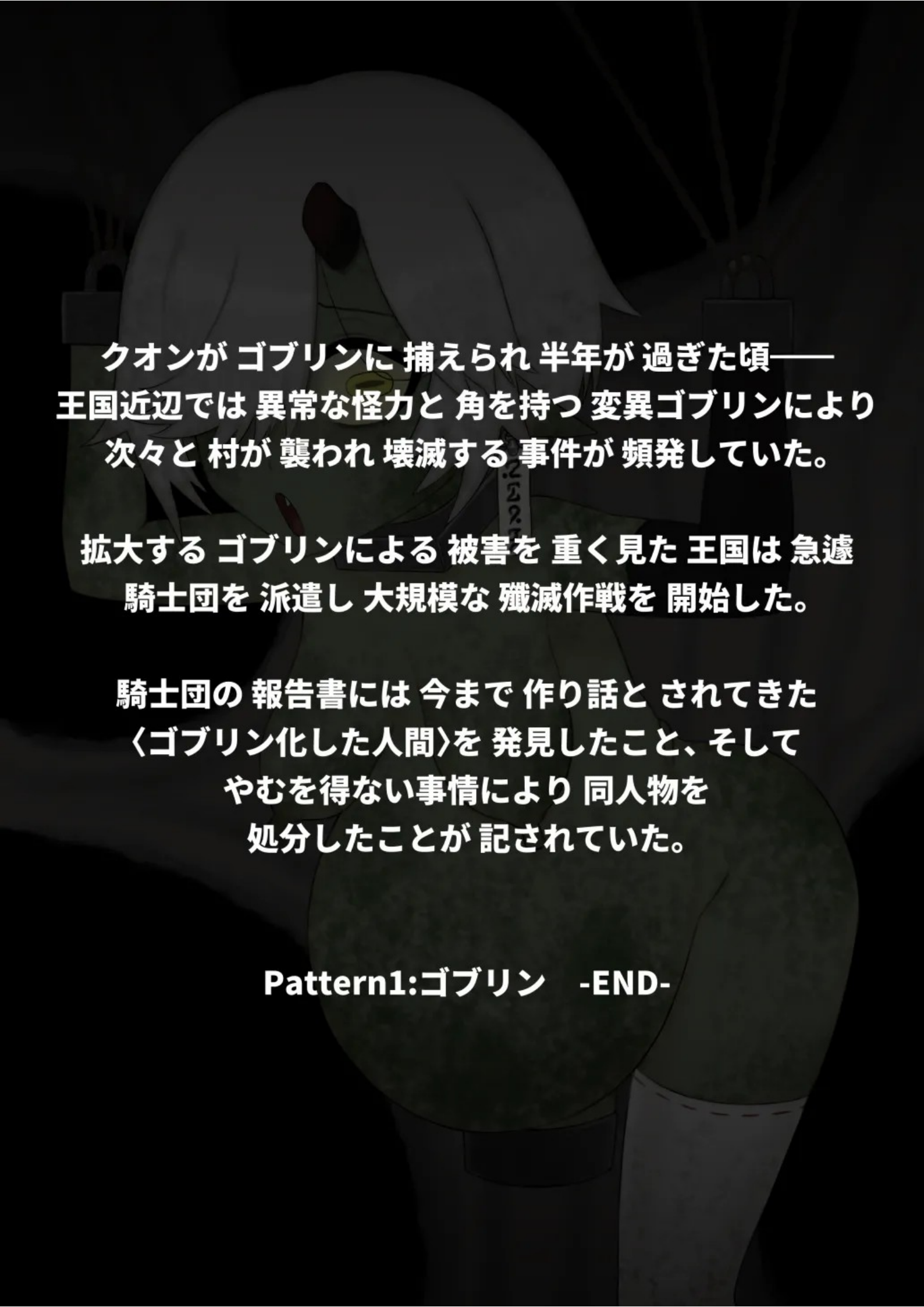
クソツ……!!  
コイツの…こんな奴の  
せいで俺の村は……ツ!!





オレが始末してやる…ツ!!

……ツ待てツ——!!



クオンがゴブリンに捕えられ半年が過ぎた頃——  
王国近辺では異常な怪力と角を持つ変異ゴブリンにより  
次々と村が襲われ壊滅する事件が頻発していた。

拡大するゴブリンによる被害を重く見た王国は急遽  
騎士団を派遣し大規模な殲滅作戦を開始した。

騎士団の報告書には今まで作り話とされてきた  
〈ゴブリン化した人間〉を発見したこと、そして  
やむを得ない事情により同人物を  
処分したことが記されていた。

Pattern1:ゴブリン -END-



## Pattern2:プリズンワーム

「亡霊の呻き声がある」と噂される 廃棄された  
旧地下牢の 調査依頼を受けた クオンは  
薄暗い中 何者かに襲撃され 意識を失ってしまう。  
四肢を 拘束され 身動きができない状態で  
目を覚ました クオンは 自らに迫っている  
危機を まだ理解できていなかった。

う……う……牢獄の地下に  
こんな魔物がいたなんて……!  
カもうまく入らないし……  
どうしよう……



食べられ…は…してないし…  
何が目的なんだろう…？

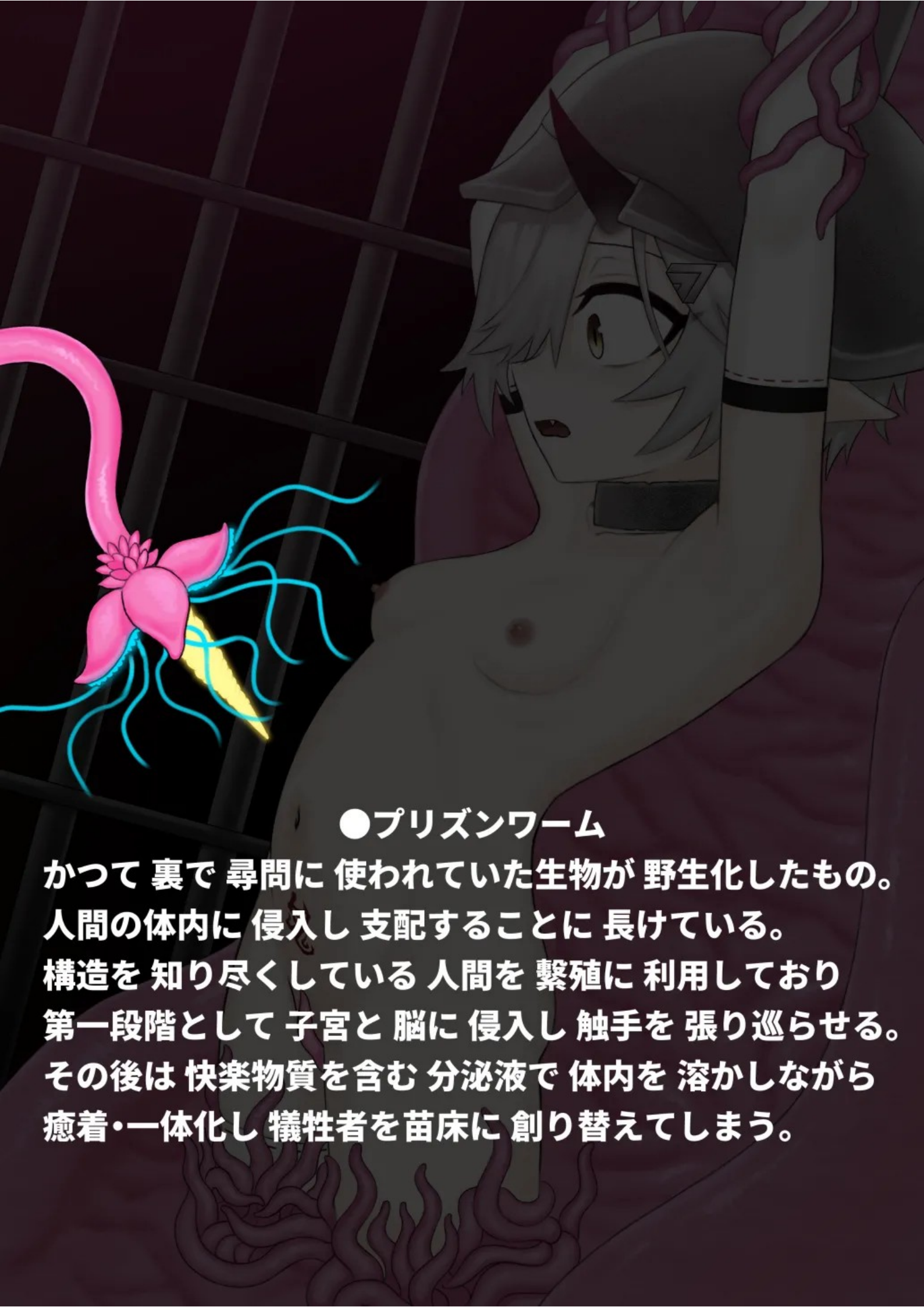




ひっ…!!  
な…なにこれ…!!  
なにするつもり…!!

なんでぼくのお腹  
見てるの……？ね、ねえ……





### ●プリズンワーム

かつて裏で尋問に使われていた生物が野生化したもの。人間の体内に侵入し支配することに長けている。構造を知り尽くしている人間を繁殖に利用しており第一段階として子宮と脳に侵入し触手を張り巡らせる。その後は快樂物質を含む分泌液で体内を溶かしながら癒着・一体化し犠牲者を苗床に創り替えてしまう。

まさか……う……うそ……  
嘘だよね!?! ちょっと待ッ

くち……





な…なににして……っ!!  
お腹の中ズキズキするっ…!!

ドクン

ドクン

ドクン





これ…っ!! ぜったい  
ぼくの赤ちゃんの部屋に  
へんなことされてる…っ!!  
と…止めなきや…っ!!

ズキン

ズキン

ズキン





さあさあさあ...

いんちん...やめ...いんちん...

ん？...？

死



がはッ……!? ……!?




あ.....

うあ.....

ドクニン.....

ドクニン.....



我が主の繁殖のために精神を手放し無抵抗で  
この肉体を捧げ子を成すことこそが我が使命。

た  
た  
す  
け  
て  
……  
だ  
れ  
か  
……

我が主の繁殖のために精神を手放し  
この肉体を捧げ子を成すことこそ

主の繁殖のために精神を手放し無抵抗で  
肉体を捧げ子を成すことこそが我が使命。

我が主の繁殖のために精神を手放し無抵抗で

この肉体を捧げ子を成すことこそが我が使命







フーツ...!!  
フーツ...!!

ゴクン...!!

ゴクン...!!

プリズンワームに侵入され  
脳支配を受けてしまったクオン。  
しかし鬼と人間の微妙な脳構造の差により  
奇跡的にわずかな自我が残っており必死に抵抗を続けていた。



や…やめて…ツ!!  
いい…加減につ…!!



卵巣に直接繋がれた管から次々と  
吸い出されていくクオンの卵子は  
体外でプリズンワームに受精させられ、  
再び苗床と化した子宮へと植え付けられてゆく。



うづうづうツ……!!  
ぼくの……っ体……だぞ……っ!  
ちちうえと母うえからもらった  
誇り高きお おっ おにツ鬼のツ♡





お

お



高濃度の快楽物質が脳に深刻な  
ダメージを与える乱雑な解析により  
クオンの人格が完全に消滅するまでの  
タイムリミットはもう目前まで迫っていた



どんどん…意識が薄れて…っ！  
このままじゃっ♡頭の中身ぜんぶ♡  
いつらに食べられちゃうっ…!!



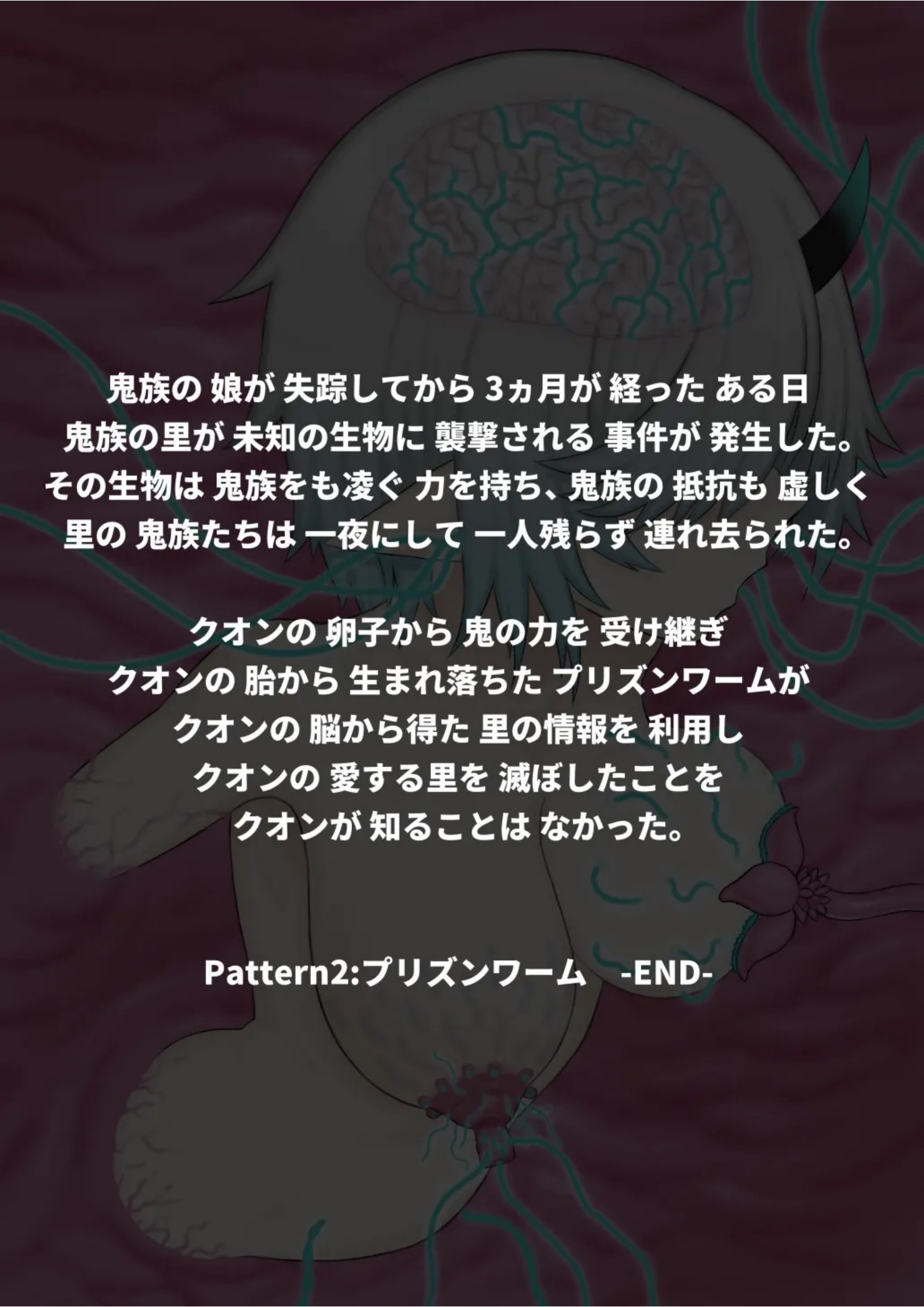






同期レベル——100%『同期成功』  
繁殖最適化開始——『プリズンワーム』  
繁殖最適化中………繁殖最適化中………





鬼族の娘が失踪してから3ヵ月が経ったある日  
鬼族の里が未知の生物に襲撃される事件が発生した。  
その生物は鬼族をも凌ぐ力を持ち、鬼族の抵抗も虚しく  
里の鬼族たちは一夜にして一人残らず連れ去られた。

クオンの卵子から鬼の力を受け継ぎ  
クオンの胎から生まれ落ちたプリズンワームが  
クオンの脳から得た里の情報を利用し  
クオンの愛する里を滅ぼしたことを  
クオンが知ることはなかった。

Pattern2:プリズンワーム ~END~



### Pattern3:ハラガリムシ

別の町に移動中、白い沼地に行く手を阻まれたクオンは、近道をするために沼地に足を踏み入れることを決意する。気持ち悪さを感じながらも順調に進むクオンだったが水面下では致命的な脅威が迫っていた。

うう…ぬるぬるしてきもちわるい……  
でもしようがないよね……  
下着がぬるぬるになるのは  
絶対にいやだもん……



おまたがむずむずする……  
…っだめ！冒険者なんだから  
これぐらい我慢しなきゃ……！！



にち…v

ゆる…v

……もしかして今のぼく……  
他の人から見たらおまた  
すっぽんぽんで歩いただの  
へんたいさんなんじゃ……

くちゅ……

ぬち……



こ…こんな沼はやく出なきゃ！  
もし誰かに見られたりしたら  
鬼族の名を傷つけちゃう…！！

ぐっ！！

ぐちゅっ！！  
ぐっ！！

ぐりゅっ！！



ど  
ちゅん  
ん  
♡♡



### ●ハラガリムシ(成虫)

白い沼地に生息する寄生虫の一種。分泌液によって周囲の水を微弱な麻酔効果のある白色の粘液に変え、体表の感覚が麻痺した他生物の子宮内に侵入する。子宮に侵入した後は宿主の血管内に産卵しながら媚薬性の毒を注入し宿主を快樂中毒にしてしまう。こうして知性を奪った肉体で子育てを始める奇怪な生態からやがて「腹借り虫」の名が与えられた。

今…なんだかお腹が…

……？……なにこれ……？

【子宮防衛機能破壊】……

【寄生進行】【卵巣汚染】……？



!!

!!

ゴッ

ゴッ

(…ってなんなんだろう…  
町に着いたら聞いてみよう)



…んんん…





לְבַרְכֶיךָ יְיָ אֱלֹהֵינוּ  
יְיָ אֱלֹהֵינוּ יְיָ אֱלֹהֵינוּ  
יְיָ אֱלֹהֵינוּ יְיָ אֱלֹהֵינוּ





こんなの絶対ダメなのにつ♡絶対っ♡  
お医者さまに見せないとダメなのにつ♡

△△△  
△△△  
△△△

急に乳首がざわざわしてっ…♡  
ちよっと引っ掻いただけなのにっ♡  
こんな…ぼくの体どうなっちゃったの!?

ゴシッ  
ゴシッ  
ゴシッ

ドクッ…  
ドクッ…

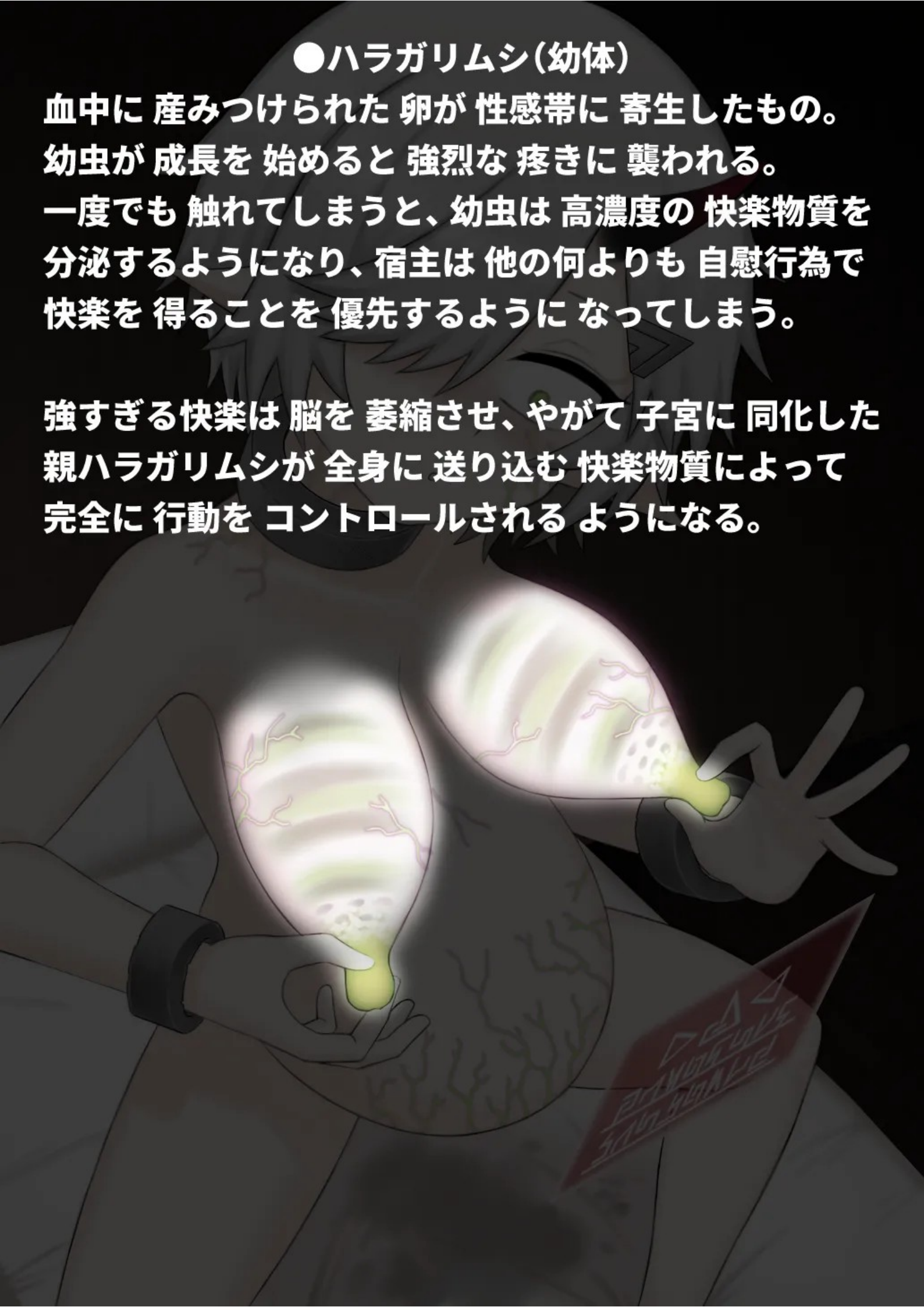
△△△  
△△△  
△△△



## ●ハラガリムシ(幼体)

血中に産みつけられた卵が性感帯に寄生したもの。幼虫が成長を始めると強烈な疼きに襲われる。一度でも触れてしまうと、幼虫は高濃度の快楽物質を分泌するようになり、宿主は他の何よりも自慰行為で快楽を得ることを優先するようになってしまう。

強すぎる快楽は脳を萎縮させ、やがて子宮に同化した親ハラガリムシが全身に送り込む快楽物質によって完全に行動をコントロールされるようになる。





エツへへ♡気持ちイイの来たあっ♡  
だいじょーぶ♡これへんじやないっ♡  
だってえ♡気持ちイイもんっ♡

ブシッ  
ゴシッ

△△△  
△△△  
△△△





やだっ!やめてっ!頭の中むりやり  
気持ちいいにしないでああ♥あ♥

△△△  
△△△  
△△△



ズキッ

ズキン  
ズキン

ズキッ

ズキン

ズキン

頭がっ…すごくズキズキする…っ！  
ほんとにダメなやつが来ちゃうう…！！

△△△  
△△△  
△△△



ぎやは♡けへへ♡

くるくるっ♡きもちイイがくるうっ♡  
じっじっ♡じっじっじっじっ♡

ゴシュッ  
ゴシュッ

△△△  
△△△  
△△△



ズキッ

ズキッ

ズキッ

ズキッ

ズキン

ズキッ

ああ あきもちいいっぱい  
なにも かんがえられな——

ドクッ!!  
ドクッ!!

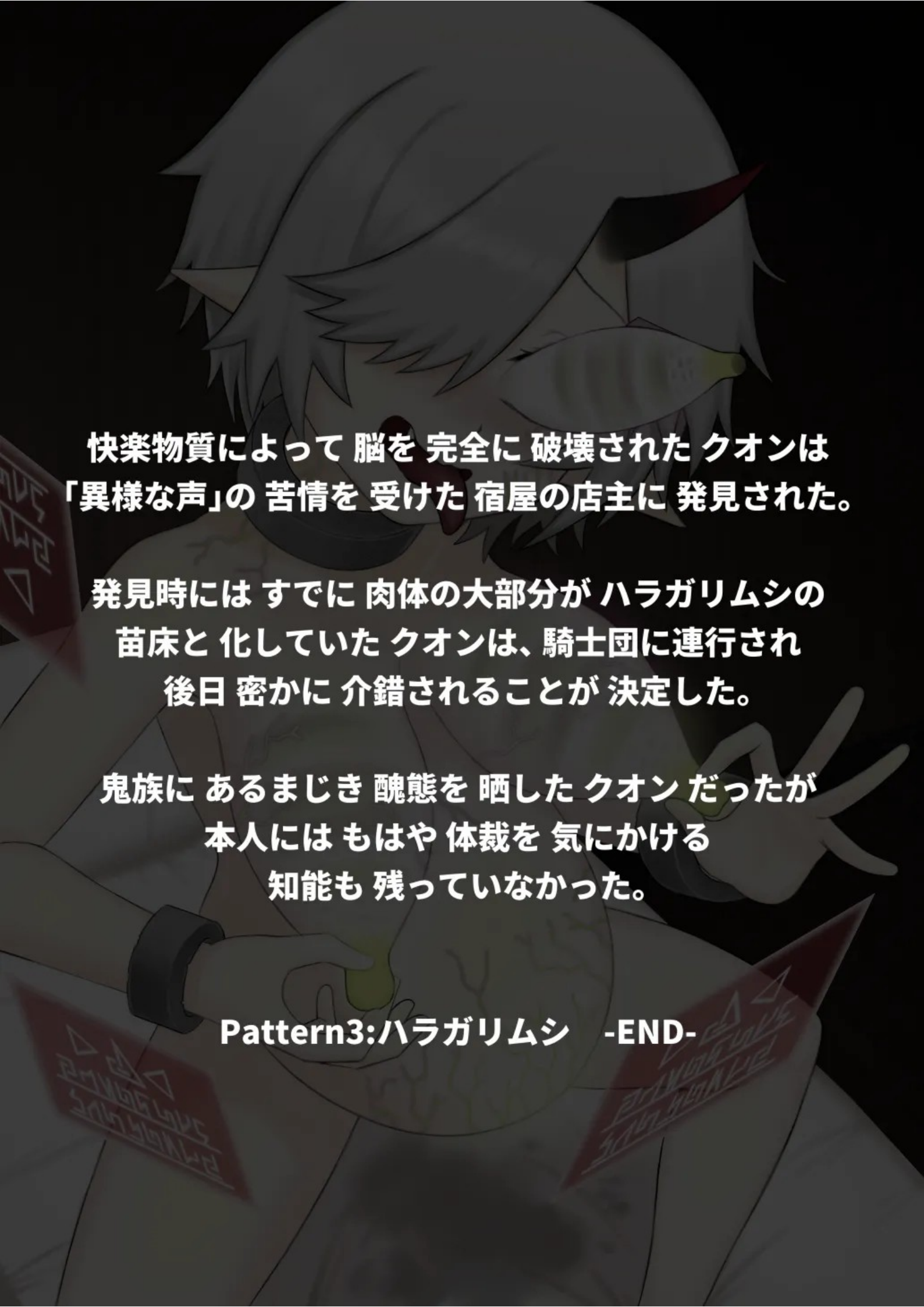


おどろおどろ

ぶりか

おどろおどろ



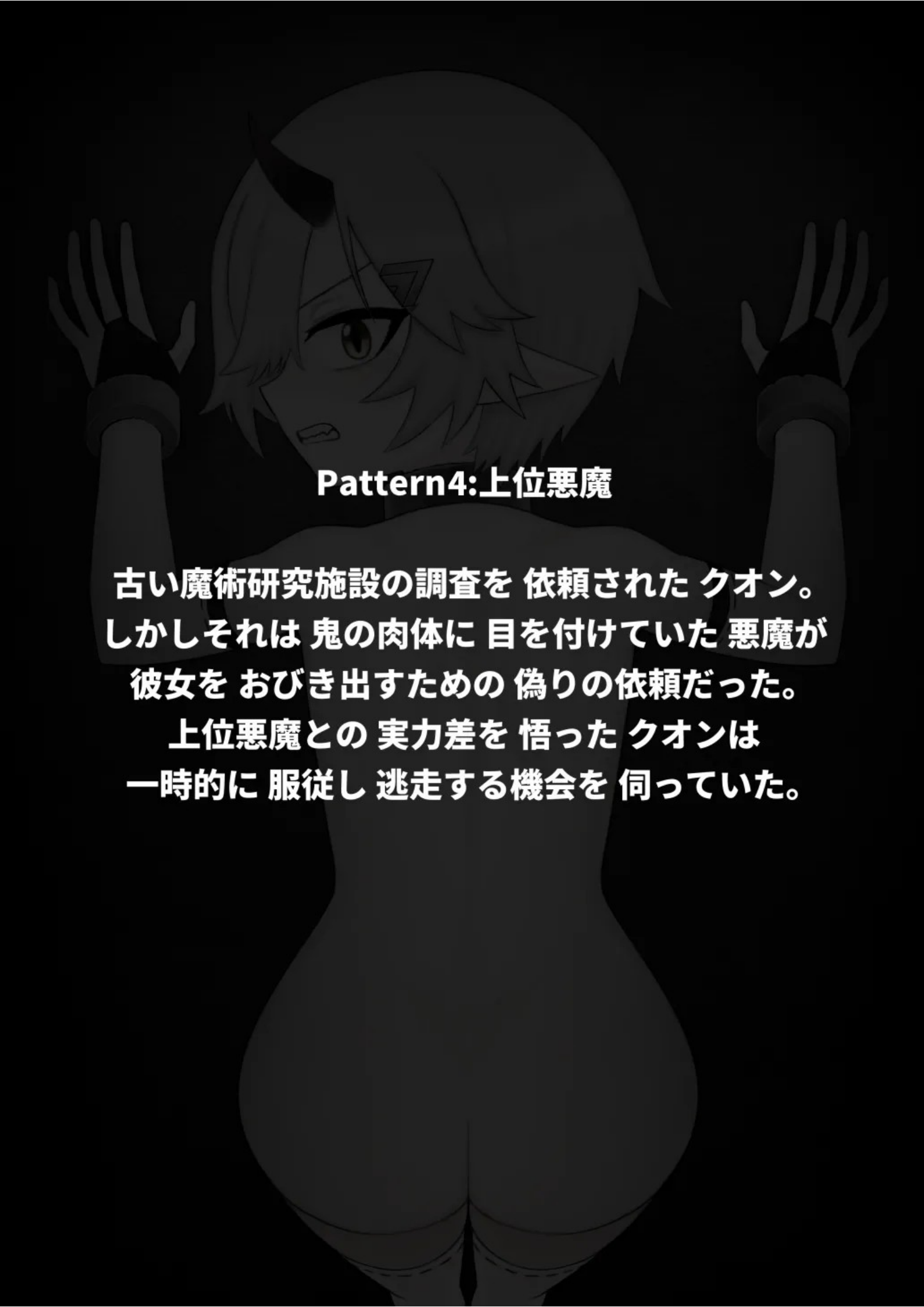


快樂物質によって脳を完全に破壊されたクオンは「異様な声」の苦情を受けた宿屋の店主に発見された。

発見時にはすでに肉体の大部分がハラガリムシの苗床と化していたクオンは、騎士団に連行され後日密かに介錯されることが決定した。

鬼族にあるまじき醜態を晒したクオンだったが本人にはもはや体裁を気にかける知能も残っていなかった。

Pattern3:ハラガリムシ -END-



## Pattern4:上位悪魔

古い魔術研究施設の調査を依頼されたクオン。  
しかしそれは 鬼の肉体に目を付けていた悪魔が  
彼女をおびき出すための偽りの依頼だった。

上位悪魔との実力差を悟ったクオンは  
一時的に服従し 逃走する機会を伺っていた。



——キミが鬼族のクオンで  
間違いないね？……ようこそ  
ワタシの工房へ！歓迎するよ

ワタシはヴェフォール。  
キミに興味を抱くしがない  
悪魔にして…魔術研究者だ



く…上位悪魔がぼくなんかを  
捕まえて…何が目的ですか！

ぼくは魔術に詳しくないし…  
役に立つとは思えません…!!  
人違いじゃ…!!



いやいや!とんでもない!

鬼族は非常に貴重だからね...キミには  
ぜひワタシの研究を手伝って貰いたい

(僕のカじや逆らっても勝てない...  
悔しいけど...今は従うしか...)  
ぼくにできる...ことなら...



そうかそうか！ 契約成立だ！  
では…早速協力してもらおう



●上位悪魔 ヴェフォール

人間を用いた実験を繰り返している悪魔のひとり。今までの実験成果から圧倒的な魔力を有しており、その滅多に行使されない実力は魔王にすら並ぶ。最近では生命の創造に熱中しており、これまで無数の〈有力女性冒険者〉を〈犠牲者〉へと変えている。



ひっ……なんで  
おちんちん出して……!?

実は長いこと悪魔の胤の受精に  
耐えられる卵子を探していてね…  
まだ鬼族は試せていなかったんだ



鬼族は頑丈な種族だと聞く…  
良い結果を期待しているよ

ま……待ってっー！  
それって…ぼくのママ  
お母さんにするっママじゃー



ボツ!  
!?

XXXXXX...  
007 00/00 00:00

ズ  
る  
ん  
っ  
♡

ほお…これは素晴らしい！  
まだ未熟な個体だというのに  
頑強で柔軟性に富んでいる！  
まだまだ耐えられそうだ



ガクガク

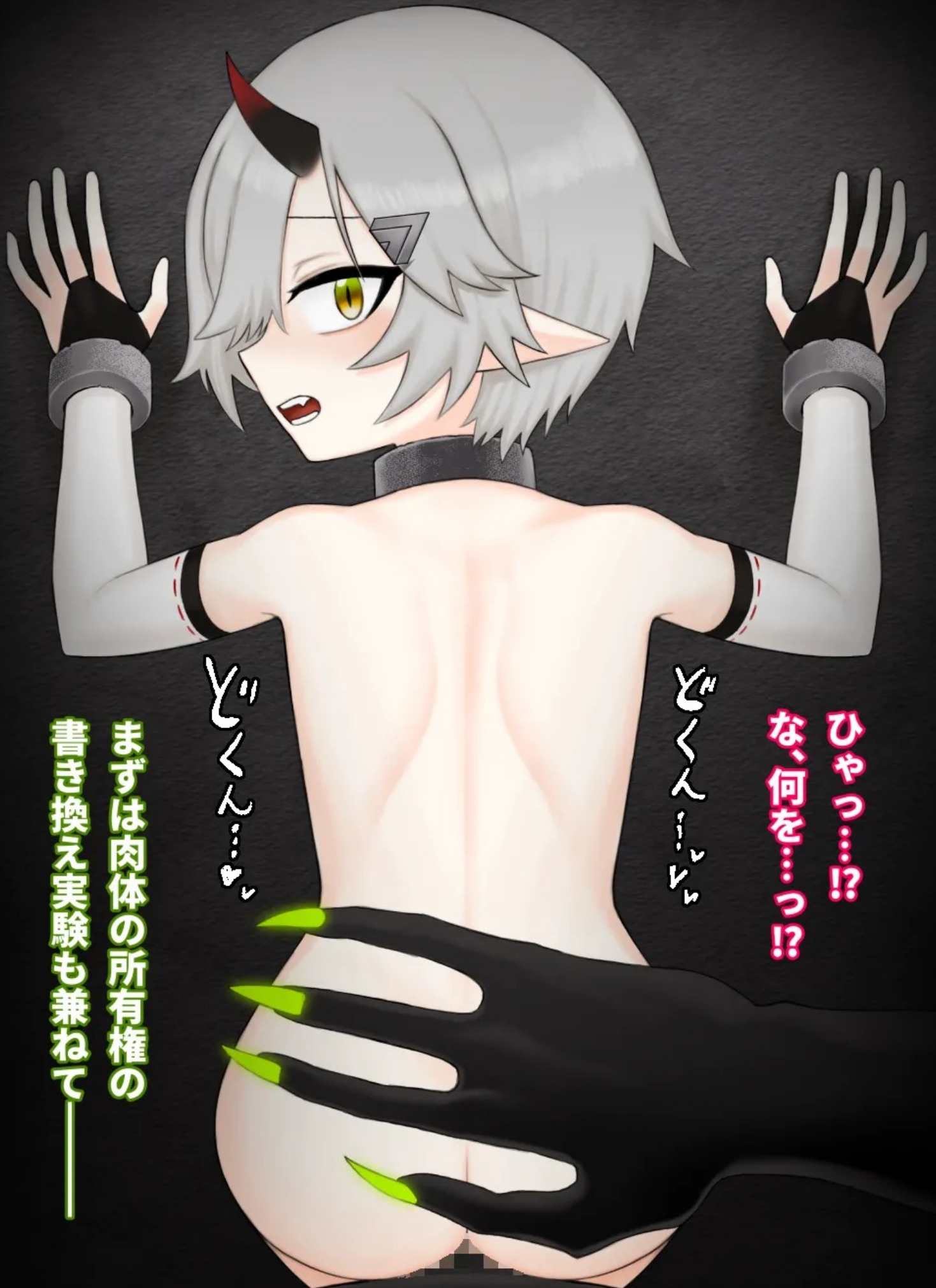
ビクビク

——  
気に入った。

キミにはこれからも長く  
ワタシの実験を手伝って貰おう

へ……え……？



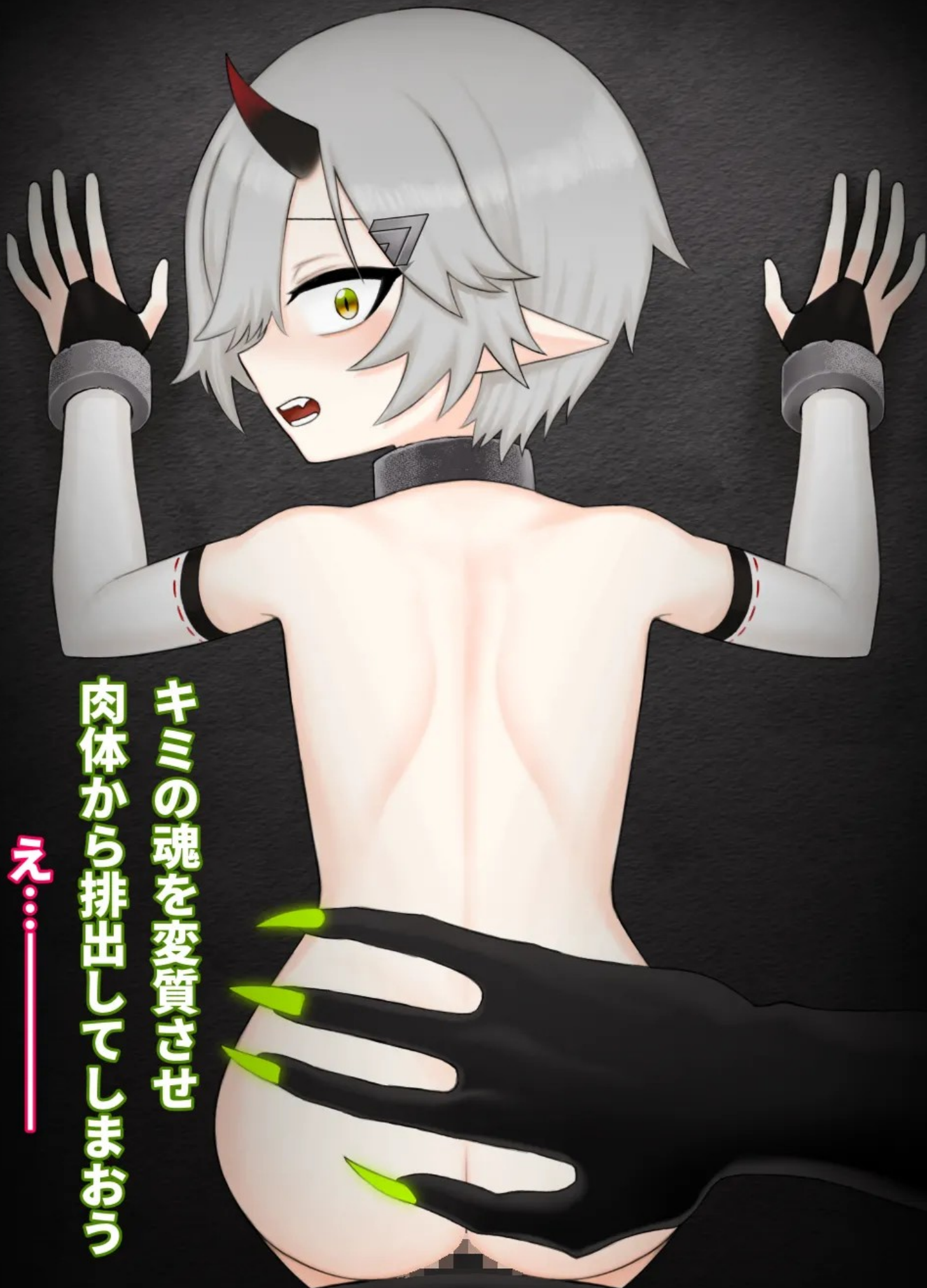


ひゃっ…!?!  
な、何を…っ!?!

どくん…っ

どくん…っ

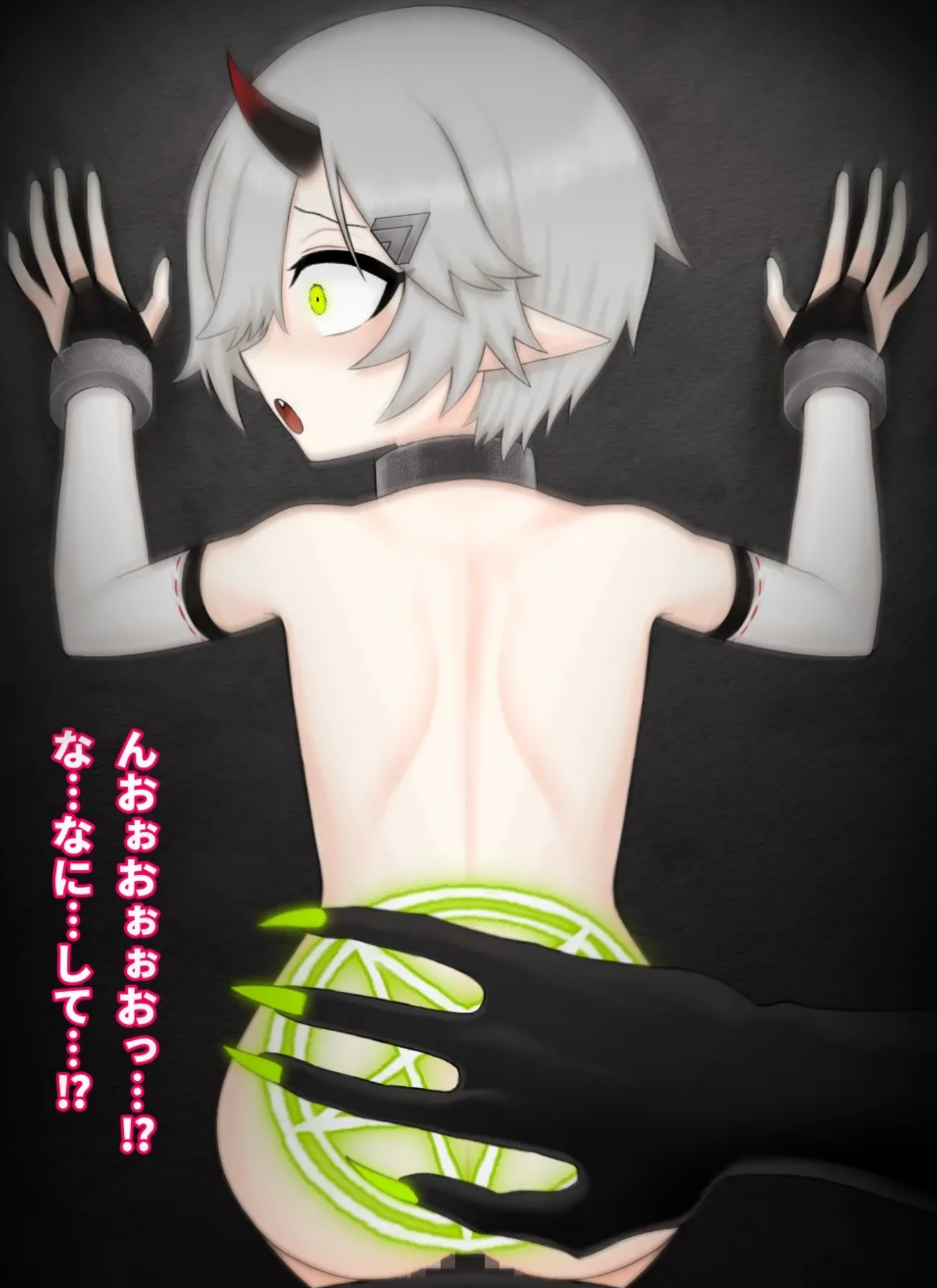
まずは肉体の所有権の  
書き換え実験も兼ねて――



キミの魂を変質させ  
肉体から排出してしまおう

え……





んおおおおおっ…!!?  
な…なに…して…!!?

はー…っ!! はあー…っ!!

排卵中の卵子にキミの魂を移し  
そのまま定着させてもらったよ

史上初の鬼族の魂と悪魔の胤を  
掛け合わせた混血だ…興味深い!



はー…っ!!

はー…っ!!



うう…ぼく…どうなるの…!?

ああもちろん受精してしまえば最期…

キミの魂は精子の情報で侵蝕され

人格も肉体の所有権も失うよ

そ…そんな…!

う…うそ…や、やだ!



おねがひひあふっ！  
ゆるひへくりやは…あえ…!?

上手く喋れないだろう？  
魂を卵子に移されたことで  
肉体との同期に異常が出ているんだ



は  
〜  
〜  
〜

は  
〜  
〜  
〜



ではそろそろ実験再開だ  
一度目の精液を注ぎ込むよ

(いやだ！ぼくの体……  
ぼくの魂なのにつ……！  
こんな…簡単に……っ！)





もし万が一…キミが侵蝕に  
耐えられたら肉体はキミに返そう  
助手は万年不足気味だからね

(っ…………!!生きて帰る…!!)  
我慢する!絶対負けない…!!)

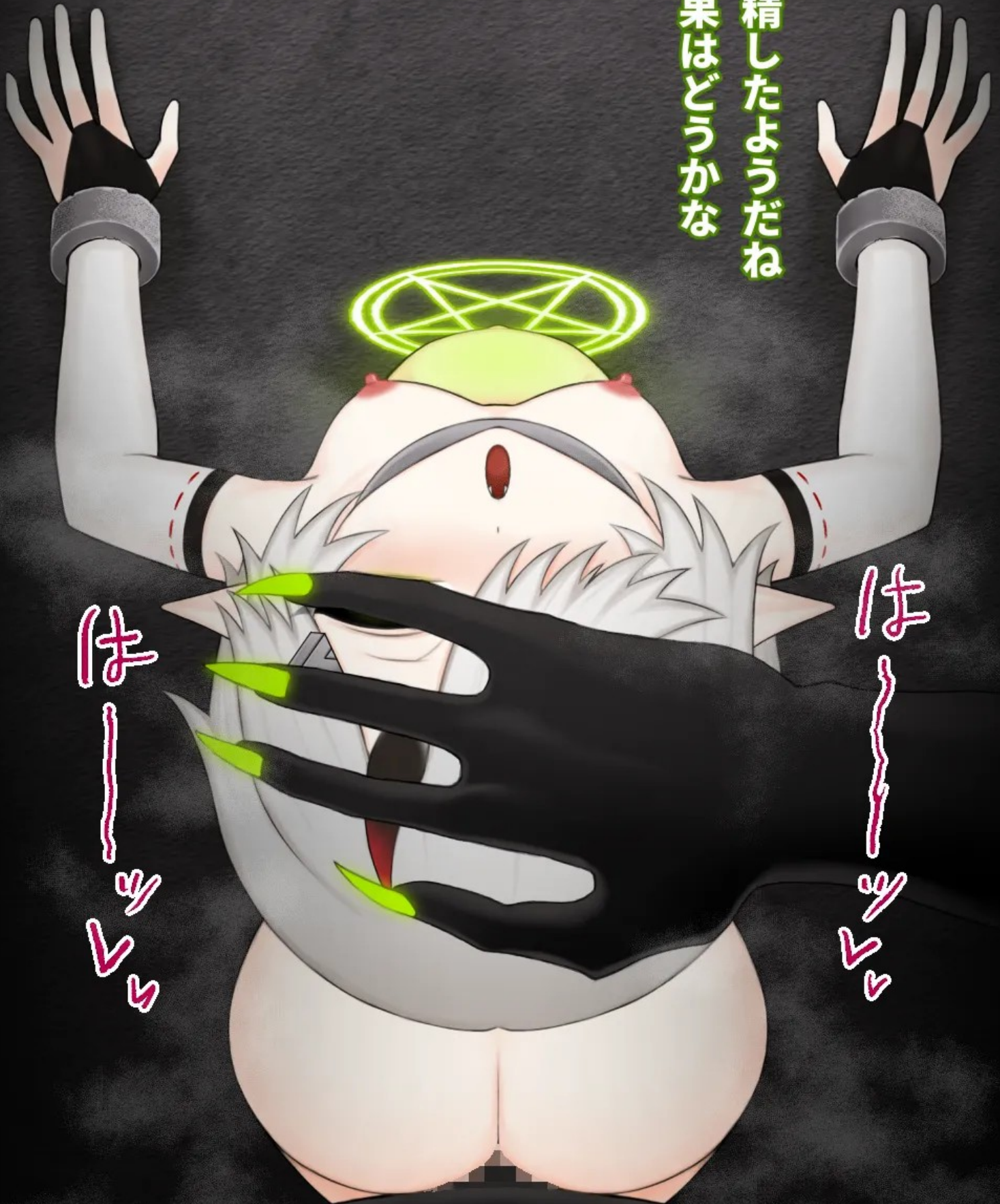


では今はさようなら、鬼族の少女よ。

（絶対耐える！絶対耐える！  
絶対耐える！絶対耐え



おお…受精したようだね  
さて…結果はどうかかな



は  
〜  
ツ  
〜  
ス

は  
〜  
ツ  
〜  
ス

ああ…残念だ。

やはり鬼族といえど

魂の強度は変わらないか

[人格喪失]

しかし卵子自体は

悪魔の胤でも問題なく

受精できているじゃないか



魂は低級の混血魔族にしか  
ならないだろうが……  
キミの肉体と卵子は  
いい素材になる

改めてワタシの工房に  
ようこそ、鬼族の元クオン。









うー……  
うー……

ふむ…最後の胎児の出産も  
もうすぐと言ったところか。



鬼族でできる実験はこれで最後だ  
あれから……500年ほどかな？  
キミには随分楽しませて貰ったよ

あう………？

愛玩用としても気に入ってはいたが…  
消耗が進んでもはや使える部位もない



かと言ってキミを残しておく  
理由も必要性も特になくてね

あうー……

まあ……すでに魂を失ったキミに  
言ったところで理解できないだろうが……



胎の実験体を産み次第  
キミを廃棄することにしたよ



あう！  
うー…！！

これは…喜んでいるのか…？  
まさか魂の抜け落ちた脳だけで  
自分の終わりを理解できるとは…

パァパァ



キミは最後までワタシを

楽しませてくれる…

う！う！

思えばキミを飼い始めてからの  
500年はなかなか楽しめた—  
良質で有意義な暇つぶしになったよ



ワタシからの感謝を込めて  
すぐに逝かせることを約束するよ  
と言っても魂はないが…

あうう！あー！

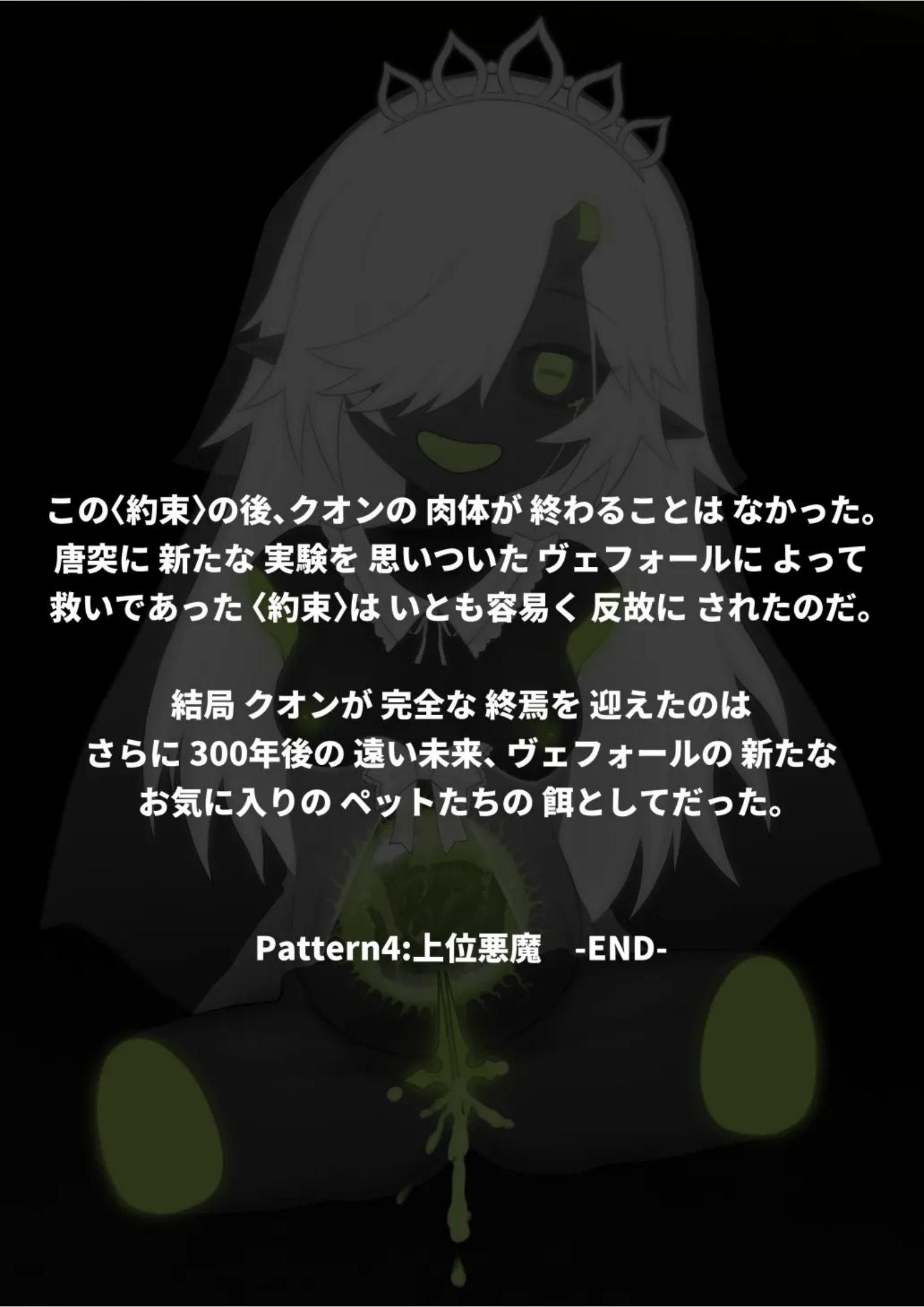
では……さようならだ。

かつてクオンと呼ばれた鬼の少女よ。





! ! !



この〈約束〉の後、クオンの肉体が終わることはなかった。  
唐突に新たな実験を思いついたヴェフォールによって  
救いであった〈約束〉はいとも容易く反故にされたのだ。

結局 クオンが完全な終焉を迎えたのは  
さらに300年後の遠い未来、ヴェフォールの新たな  
お気に入りのペットたちの餌としてだった。

Pattern4:上位悪魔 -END-